

第18回情報プロフェッショナルシンポジウム

INFOPRO 2021

参加者募集!

企業・大学・図書館の情報プロが集う最大のイベントです!

メインテーマ 「インフォプロにとってのニューノーマルとは何か」

主催 一般社団法人 情報科学技術協会 (INFOSTA)

協力 国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST)

期日 2021年7月1日(木)、2日(金)

開催形式

オンライン

国内初! バーチャル会議プラットフォーム Morressier を活用予定

**プログラム
(予定)**

- ◇ 特別講演
- ◇ 一般口頭発表(知財・図書館・ライフサイエンスなど)
- ◇ OUG ライフサイエンス分科会 公開講座
- ◇ プロダクト・レビュー
- ◇ 情報科学技術協会賞表彰式
- ◇ 情報交流会(検討中)

※ プログラムの詳細は、後日シンポジウム Web サイトに掲載いたします。
<https://www.infosta.or.jp/symposium-top/>

**参加費
(予定)**

一般 6,600 円、INFOSTA 会員 4,400 円、学生 2,200 円 (税込)

参加申込

- ◇ 申込締切: 2021年6月25日(金)
- ◇ シンポジウム Web サイト (<https://www.infosta.or.jp/symposium-top/>)から
お申込みください

☆☆☆シンポジウムに協賛していただける企業・団体を募集します☆☆☆
協賛特典を多数用意しております。詳しくは下記へお問い合わせください。

一般社団法人 情報科学技術協会 INFOPRO2021事務局

〒104-0033 東京都中央区新川 1-11-14 日本図書館協会会館 6階
TEL: 03-6222-8506 FAX: 03-6222-8507 sympo@infosta.or.jp



特別講演

7月1日(木)

「コロナ禍後の社会変化を考える」

岸本喜久雄 先生

新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
技術戦略研究センター センター長



昨今のデジタル革命やグローバル化の進展によりイノベーション創出のスピードが加速され、そのさなかで生じた新型コロナウイルスの感染拡大は、AI やリモート技術をはじめとした様々な技術開発の更なる進化を後押ししている。

例えば、コロナ禍のニューノーマルとして、人の密集を避けるためのテレオペレーションとしてのリモート化と自律化技術としてのオートノミーをAIによってスマートに融合する「スマートテレオートノミー」という技術開発の重要性を、NEDO 技術戦略研究センターでは提唱している。本講演では、こうしたコロナ禍後に期待される社会変革の方向性や、今後の展望について議論したい。

7月2日(金)

「大学の現場とニューノーマル(仮題)」

山本佳世子 先生

日刊工業新聞社
科学技術部論説委員兼編集委員



新型コロナウイルス感染症により、大学そして大学と社会の在り方は大変革を迎えています。オンライン授業の浸透で、対面による実習や実験、演習による教育の力を、各大学・教員とも問われるようになっていきます。対面授業の合間にオンライン授業や就職活動が可能なスペースが、300人収容の大規模教室に代わって必要など、大学の施設・設備も変わります。

教員・研究者・職員の生活はテレワークがゲームチェンジャーです。男性の家事分担や、独身者の自己啓発活動など、だれもがバランスのとれた働き方にシフトすることができるそうです。育児女性支援も長期休業など“切り離された”形でなく、テレワークを活用した早期の復帰を期待します。その中で新たな未来構築には、各人の創造性とコミュニケーションが、今まで以上に重要になることでしょう。